

平成27年名古屋港の港勢

平成27年（2015年）の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数、入港船舶総トン数は前年実績を上回りましたが、総取扱貨物量は前年実績を下回りました。

1 入港船舶

入港船舶は、隻数が33,310隻（前年比0.2%増）、総トン数が2億3,466万トン（同1.2%増）と隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

○ 外航船舶

外航船舶の入港隻数は、8,006隻（同1.5%減）は前年実績を下回ったが、総トン数が1億9,518万トン（同1.4%増）と前年実績を上回りました。全体の5割以上を占めるコンテナ船においても、隻数で4,009隻（同2.1%増）、総トン数が9,361万トン（同5.7%増）とともに前年実績を上回りました。

○ 内航船舶

内航船舶の入港隻数は、25,304隻（同0.8%増）、総トン数が3,949万トン（同0.2%増）と隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

平成27年の総取扱貨物量は、1億9,798万トン（前年比4.6%減）と前年実績を下回りましたが、平成14年から14年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貿貨物取扱量については、1億3,099万トン（同5.2%減）と前年実績を下回りましたが、平成12年から16年連続で全国1位になりました。

○ 外貿貨物

輸出貨物量は、5,524万トン（同4.3%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種が上がり、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で輸出全体の7割を占めています。国・地域別では1位中国609万トン、2位アラブ首長国496万トン、3位アメリカ404万トン、4位オマーン373万トン、5位タイ236万トンです。

輸入貨物量は、7,576万トン（同5.9%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源が上がり、輸入全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位オーストラリア1,308万トン、2位中国1,127万トン、3位カタール759万トン、4位アメリカ470万トン、5位サウジアラビア443万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は、3,523 万トン（前年比 6.7%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、石油製品、鉄鋼、重油、鋼材が占めました。移入貨物量は、3,176 万トン（同 0.3%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、鋼材、石油製品、セメント、化学薬品が占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,684 万トン（同 3.6%減）、コンテナ個数は 247 万 TEU（同 4.0%減）と前年実績を下回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,281 万トン（同 3.0%減）、輸入は 2,402 万トン（同 4.2%減）輸出入ともに前年実績を下回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、ゴム製品、完成自動車、その他化学工業品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、輸送用容器、家具装備品、電気機械が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は、1 位中国 498 万トン、2 位アメリカ 327 万トン、3 位タイ 172 万トン、4 位台湾 103 万トン、5 位中国（ホンコン）100 万トンです。輸入は、1 位中国 1,056 万トン、2 位アメリカ 175 万トン、3 位タイ 144 万トン、4 位中国（ホンコン）127 万トン、5 位ベトナム 123 万トンです。